

校訓《自律と創造》 貝塚市立第四中学校

四中だより



平成27(2015)年 2月号 TEL433-1340 FAX433-1823

校長室から 井出 博 <http://www.kaizuka.ed.jp/dai4-jh/>

【校内研究授業・研究協議】 1月19日(水) 6限

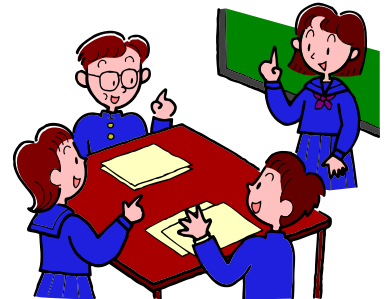
○「自ら考え意見を交わし、学び合いのできる生徒の育成」をテーマに研究授業を開催しました。

2年生の古西・伊藤両教諭が「図形の性質と合同」の単元で実施し、関西国際大学 教育学部准教授 上原 昭三氏の指導助言をいただきました。

・「四中の授業は、附属中学校でされているような授業で、大変研究されている」という評価をいただきました。

特に、次の点が成果として示されました。

- ①導入の工夫がなされた授業。
- ②多様な解き方をたくさん発見できた授業。
- ③解らない子どもが、主体的・積極的に考えている授業。
- ④学び合いの授業でアクティブ・ラーニングが出来ていた。



【アクティブ・ラーニング】(キーワード)とは?

- 次期学習指導要領の改訂のために中央教育審議会への諮問が行われ、このなかで、新しい時代にふさわしい学習指導要領の基本的な考えのところで、「アクティブ・ラーニング」の重要性が示されました。
- これからの授業づくりは「何を教えるか」(知識の質や量) + 「どのように学ぶか」の形態をとり、アクティブ・ラーニング(課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)することが大切です。
- ラーニングピラミッドでは、講義・読む授業より、学習したことを人に教える方がより効果的であることが示されています。

【ありがとう！の感謝の気持ちを考える】

『暗い』の反対語は『明るい』、『速い』の反対語は『遅い』。では、『ありがとう』の反対語は、なんでしょう？

ありがとうの語源は『有り難い』。つまり、『ある』ということが『難しい』ということです。

あるのが当然、つまり『当たり前』が『有り難い』の正反対の言葉です。

親が食事を作ってくれることを「当たり前」と思っている人は「ありがとう」という気持ちがわからないし、自分が困っているときに誰かが助けてくれたことを「当たり前」と思っていたら素直に「ありがとう」とは言えません。



でも、考えてみたらそのどちらだって「当たり前」ではありません。**こういうことは身のまわりにいっぱいあるはず**です。もう一度「有り難いことだ」という目でみてみましょう。「有り難い」はずなのに、「ある」ということに気づけば、自然に感謝の念が湧いてくることが多いと思います。

【表彰】

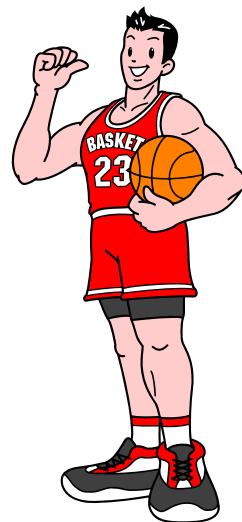
○中体連泉南地区新人大会

優勝 男子バスケットボール部

最優秀選手賞 宮村 佑太

優秀選手賞 森下 景太

優秀選手賞 岩崎 光瑠



【すこやかルーム】

保護者の皆さんには、お子さまのことで悩まれることもあるかと思います。スクールカウンセラーの吉田妙子さんと一緒に考えてみませんか。

(事前に担任の先生か学校へ連絡をして下さい。)

相談日時：毎週火曜日 10:00～17:00 電話 072-433-1340 (四中)